

竹川病院

柳下 亜弥 副主任

功 績	看護師長不在の中代行業務を勤め、職員の新型コロナウイルス陽性者発生の際に病棟をまとめゾーニング・患者隔離等適切に対応した功績
推 薦 者	看護部長 畑中 晃子
推 薦 理 由	看護師長不在のなか代行職を勤め上げ新型コロナウイルス職員陽性者発生の際に病棟において主導的にゾーニングほか対応した功績

内 容

看護部の柳下副主任は今年度より副主任になりましたが、病棟の事を第一に考え、率先して患者さんのケアにあたっています。他院での経験に加え、当院での勤続年数は4年半となり、確かな知識や技術を持ち合わせているベテランナースとして活躍して頂いています。

本年8月に2F病棟田中師長がご家庭の事情で介護休暇を取得されていたため、およそ一か月に渡り、兎玉副主任とともに代行業務を担っていただきました。師長が長期不在時に病棟の管理をすることが初めての経験であり、様々なことに対応されながら成長されたことをうれしく思っています。それについては先日「仕事のやりがい」にも報告され、不慣れな中やり遂げたことで達成感があったということにも現れています。

今回特に柳下副主任について推薦しようと思った理由は、代行業務の中発生した職員の新型コロナウイルス陽性者対応について陣頭指揮を取り、発生から収束に至るまでリーダーシップを発揮され、終息まで無事に通常業務と感染対策業務をコーディネートされたことが評価に値することと考えました。